

平成27年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	被災した装備品等の復旧			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 小瀬 達之		
会計区分	東日本大震災復興特別会計			政策・施策名	政策：復興施策の推進 施策：東日本大震災からの復興に係る施策の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策				主要経費	防衛関係			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により被災した装備品等の復旧を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	東日本大震災により航空自衛隊松島基地等において、航空機などの自衛隊の装備品等が被災した。本事業は、戦闘機(F-2)の修復等、これら被災した装備品等の取得、修理等を行うものである。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	44,796	16,806	19,707	11,947	
		補正予算	-	70	▲ 33	-		
		前年度から繰越し	-	-	363	2,635	-	
		翌年度へ繰越し	-	▲ 363	▲ 2,635	-		
		予備費等	-	-	-	-		
	計	0	44,503	14,501	22,342	11,947		
	執行額	-	44,163	13,980				
執行率(%)	-	99%	96%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 29年度
	東日本大震災で被災した装備品等を復旧し、自衛隊の任務を遂行し得る体制へ復旧	装備品等の復旧に係る事業件数	成果実績	件	-	30	18	
			目標値	件	-	33	22	6
			達成度	%	-	91%	82%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	被災した装備品等の取得、修理等を実施する事業件数	活動実績	件	-	30	18		
		当初見込み	件	-	33	22	18	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	事業執行額/事業実施件数	単位当たりコスト	百万円/件	-	1,472	777	1,241	
		計算式	X/Y	-	44,163/30	13,980/18	22,342/18	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	武器購入費	0	541	24,25,26年度に契約締結した装備品等の納入があるため				
	諸器材購入費	422	2,256					
	武器修理費	64	99					
	航空機修理費	15,381	8,932					
	教育訓練費	0	119					
	その他	3,840	0					
	計	19,707	11,947					

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	大災害時に自衛隊が確実に活動し得るよう、被災した自衛隊の装備品等を速やかに復旧させるものであり、ニーズを反映
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	被災した自衛隊の装備品等の復旧に係る事業であることから、国(自衛隊)にのみ実施可能な事業
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	東日本大震災で被災した装備品に限定しての復旧であり、政策・施策に適合しており、かつ優先度は高い
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約方式に一般競争、及び公募を取り入れる等、競争性を確保
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	被災した航空機等の修復が主体であるためコストの水準は妥当
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	被災した自衛隊の装備品等の復旧に係る事業のみに限定
	不用率大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	競争性の確保を図るとともに、修理に先立ち実施する診断結果の適切な反映、執行時での役務内容等の精査により効率化を実施	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	東日本大震災で被災した装備品等の復旧に係る事業であり、目標とする復旧事業を着実に達成しつつあることから、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	自衛隊の任務を遂行する上で、被災した装備品等の復旧は不可欠であり、事業実施に当たり他の手段等は考えられない
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の復旧見込に基づき、概ね装備品等の復旧は伸展
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	復旧を終えた装備品等は自衛隊の任務遂行に大いに活用
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	<p>1. 必要性 自衛隊は、大災害時に、長期間、広範囲かつ大規模な救助活動や救援活動を担うこととされており、大災害時に自衛隊がこれらの役割を果たすためには、被災した装備品等を速やかに復旧させる必要がある。</p> <p>2. 効率性 修理が可能でコストの面でも効率的な場合には、使える部品を修理により再利用するなど、被災した自衛隊の装備品等が果たしていた機能を回復する上で、可能な限り効率的な方法で復旧を行う等の事業内容の精査を図った。</p> <p>3. 有効性 自衛隊による災害派遣活動は、国民の安心・安全にとって極めて重要な事業であり、自衛隊の装備品等を復旧することは、災害派遣活動が着実に行われることとなるので、有効な事業である。</p> <p>4. 総合評価 今回の予算により、被災した自衛隊の装備品等を速やかに復旧させ、大災害時に自衛隊が迅速かつ効果的に活動できる態勢を確保するために本事業が必要である。</p>	
	改善の方向性	<p>修理と購入の場合のコストメリット、部品の再利用などの可能な限り効率的かつ経済的な手法で事業を実施してきたところであるが、一部の事業については、翌年度へ繰り越している。よって、繰越事業に関しての進捗状況を逐次把握し、確実に事業が完遂できるように取り組むものである。</p>	

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

被災した自衛隊装備品等の復旧に資する必要性の高い事業であり、引き続き効率性に留意しつつ予算の執行を進めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

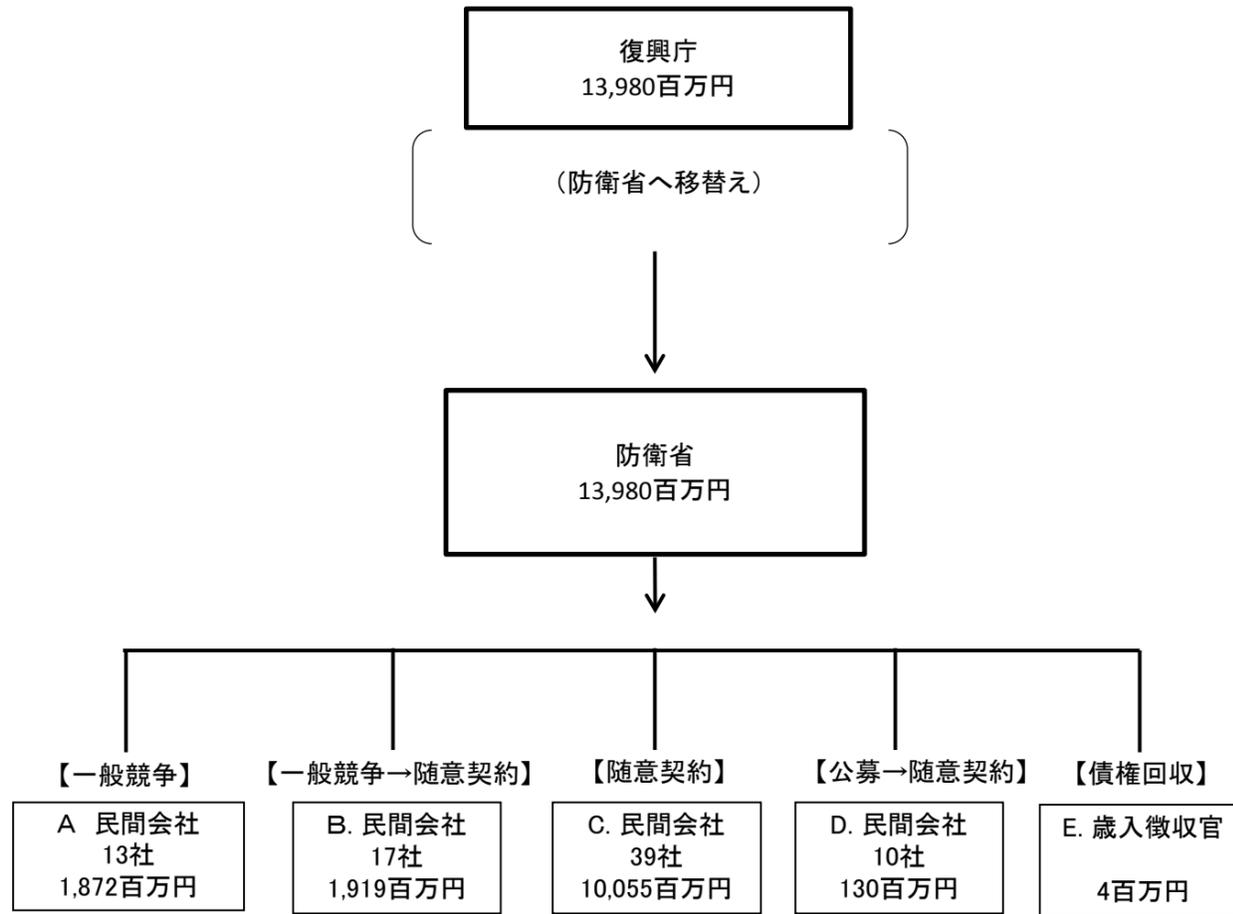
事業の目的である被災した自衛隊装備品等の復旧の達成に向け、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	—	平成23年度	—	平成24年度	—	
平成25年度	新25-065	平成26年度	240			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.三菱重工業(株)

E.歳入徴収官

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
航空機購入費	UH-60J救難ヘリコプター	1,298	航空機修理費	納期遅延に伴う債権回収	4
航空機購入費	UH-60J用搭載電子機器 初度部品	122			
計		1,420	計		4
B.三菱重工業(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
航空機修理費	F-2B損傷航空機の修復	382			
航空機購入費	UH-60J航空機用機体初度部品	105			
航空機購入費	UH-60J搭載電子機器 初度部品	50			
計		537	計		0
C.三菱重工(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
航空機修理費	航空機用維持部品	4,205			
航空機購入費	UH-60J航空機用機体初度部品	969			
航空機購入費	UH-60J救難ヘリコプター	348			
諸器材購入費	F-2用整備器材	172			
武器購入費	ADAPTER ASSY	85			
諸器材等維持費	航空機の複合材関連部位の解体及び処分	62			
計		5,841	計		0
D.三菱電機特機システム(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
通信維持費	統合電子戦装置及びUHF無線機 構成品修理	66			
計		66	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	UH-Xの取得	1,298	2	82.5%
2	三菱重工業(株)	UH-Xの取得	122	1	97.1%
3	(株)コンピュータコーポレーション	自走式発電空調装置(F-2用)	209	1	99.2%
4	第一実業(株)	10000立級救難消防車II型	102	4	95.6%
5	三菱化工機(株)	航空機洗浄廃液処理装置	96	1	92.4%
6	(株)木村土建	被災航空機の解体作業等に関する役務	22	4	68.4%
7	ウッドワート・ジャパン(株)	UH-60J用エンジン初度部品	15	1	97.2%
8	全国通運(株)東北支社	用途廃止航空機処分に伴う複合材含有金属品の輸送役務	6	3	94.3%
9	東京航空計器(株)	UH-60J航空機用機体初度部品	1	1	97.2%
10	(株)鈴勇商店	展示機等の解体作業等に関する役務	1	2	60.6%
11	東芝マテリアル(株)	UH-60J航空機用機体初度部品	0.8	1	97.2%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	F-2B損傷航空機の修復	382	-	100%
2	三菱重工業(株)	UH-60J航空機用機体初度部品(国産・その5)	105	-	97.2%
3	三菱重工業(株)	UH-60J搭載電子機器 初度部品	50	-	97.2%
4	GEアビエーション・ディストリビューション・ジャパン(株)	UH-60J用エンジン初度部品	296	-	97.1%
5	GEアビエーション・ディストリビューション・ジャパン(株)	UH-60J用エンジン初度部品	131	-	97.2%
6	GEアビエーション・ディストリビューション・ジャパン(株)	UH-60J航空機用機体初度部品	17	-	96.9%
7	三菱電機(株)	統合電子戦装置ライン・テストJ/USM-199(初度費込)	309	-	97.1%
8	三菱電機(株)	F-2用統合電子戦装置 J/ASQ-2構成品	55	-	97.2%
9	(株)ネットコムセック	CNI試験器 J/USM-72C(初度費込)	64	-	97.2%
10	(株)ネットコムセック	CNI試験器 J/USM-180A(初度費込)	58	-	97.2%
11	(株)ネットコムセック	味方識別装置試験器 J/USM-152(初度費込)	57	-	97.2%
12	住商エアロシステム(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	35	-	97.2%
13	住商エアロシステム(株)	UH-60J用搭載電子機器 初度部品	28	-	97.1%
14	住商エアロシステム(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	14	-	96.6%
15	住商エアロシステム(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	12	-	97.1%
16	住商エアロシステム(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	7	-	97%
17	住商エアロシステム(株)	UH-60J航空機用機体初度部品(国産)	1	-	97.2%
18	三菱商事(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	57	-	97.2%
19	三菱商事(株)	UH-60J用機体初度部品(輸入)	36	-	96.8%
20	日本航空電子工業(株)	AHRSテスト・セット J/USM-245	64	-	97.1%
21	日本航空電子工業(株)	AHRSテスト・セット J/USM-245(初度費)	15	-	97.2%
22	日本航空電子工業(株)	電波高度計ライン・テスター J/USM-121	3	-	96.6%
23	日本航空電子工業(株)	電波高度計ライン・テスター J/USM-121(初度費)	0.4	-	97.2%
24	住友商事(株)	UH-60J用搭載電子機器 初度部品	42	-	97.2%
25	(株)IHI	UH-60J航空機用エンジン初度部品(国産)	40	-	99.7%
26	シンフォニアエンジニアリング(株)	被災装備品の復旧に伴う関連器材の取得(松島基地整備器材)	9	-	99.7%

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	航空機維持部品	4,205	-	100%
2	三菱重工業(株)	UH-60J航空機用機体初度部品(国産)	969	-	100%
3	三菱重工業(株)	UH-60J救難ヘリコプター	348	-	97%
4	三菱重工業(株)	F-2用整備器材	172	-	99.9%
5	三菱重工業(株)	ADAPTER ASSY	85	-	97.2%
6	三菱重工業(株)	航空機の複合材関連部位の解体及び処分に関する役務	62	-	95.7%
7	(株)IHI	航空機維持部品	1,032	-	100%
8	(株)IHI	F110-IHI/GE-129エンジン・オーバーホール(マイナー)	250	-	100%
9	(株)IHI	UH-60J航空機用エンジン初度部品(国産)	28	-	97%
10	(株)島津製作所	航空機維持部品	590	-	100%
11	住友商事(株)	航空機維持部品	578	-	100%
12	伊藤忠アビエーション(株)	航空機維持部品	483	-	99.6%
13	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)	特別輸送ヘリコプター(EC-225LP)	305	-	100%
14	川崎重工業(株)	航空機維持部品	181	-	100%
15	川崎重工業(株)	T-4の格納解除に関する作業等	9	-	100%
16	住友精密工業(株)	航空機維持部品	103	-	100%
17	カヤハ工業(株)	航空機維持部品	80	-	99.9%
18	日本エアクラフトサプライ(株)	航空機維持部品	66	-	100%

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱電機特機システム(株)	統合電子戦装置及びUHF無線機の構成品修理	66	-	99.3%
2	川崎重工業(株)	航空機維持部品	23	-	99.8%
3	三菱電機(株)	レーダー・セット J/APG-1 構成品修理	14	-	100%
4	(株)日立国際八木ソリューションズ	F-2 HF無線機 構成品修理	7	-	98.4%
5	日本無線(株)	F-2 電波高度計 修理	7	-	99.2%
6	東京計器(株)	統合電子戦装置 J/ASQ-2() 構成品修理	6	-	98.9%
7	関東航空計器(株)	飛行諸元等記録装置 J/ASH-9 構成品修理	6	-	99.9%
8	日本アビオニクス(株)	F-2 エアホーン・ビデオ・テープ・レコーダ・コントロール・パネル 修理	1	-	99.3%
9	ティアック(株)	F-2 エアホーン・ビデオ・テープ・レコーダ V-80AB-FX 修理	0.5	-	99.4%
10	(株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング	PROTECTOR SET HPC STATOR	0.1	-	98.4%

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	歳入徴収官	債権回収	4	-	0%